

# 特別定額給付金の対応についての検証

令和2年7月22日

千葉市

# 1 給付状況

## 7月22日時点の状況

対象世帯数	466,000世帯	
申請件数	442,000件	(対象世帯の95%)
給付件数	403,000件	(対象世帯の86%、申請世帯の91%)

7月30日までに437,000世帯 (対象世帯の94%、申請世帯の99%) に  
給付完了する予定

## 2 本市の準備スケジュール

- 4月13日 市民局において準備開始
- 4月16日 内閣総理大臣が一律10万円の現金給付の考えを表明
- 4月16日 **委託事業者との協議開始**  
過去の給付金関連業務の経験者へのヒアリング  
(のちに事務局に配置)
- 4月20日 **1人10万円の「特別定額給付金」の閣議決定**
- 5月8日 本市補正予算（989億円）を専決処分

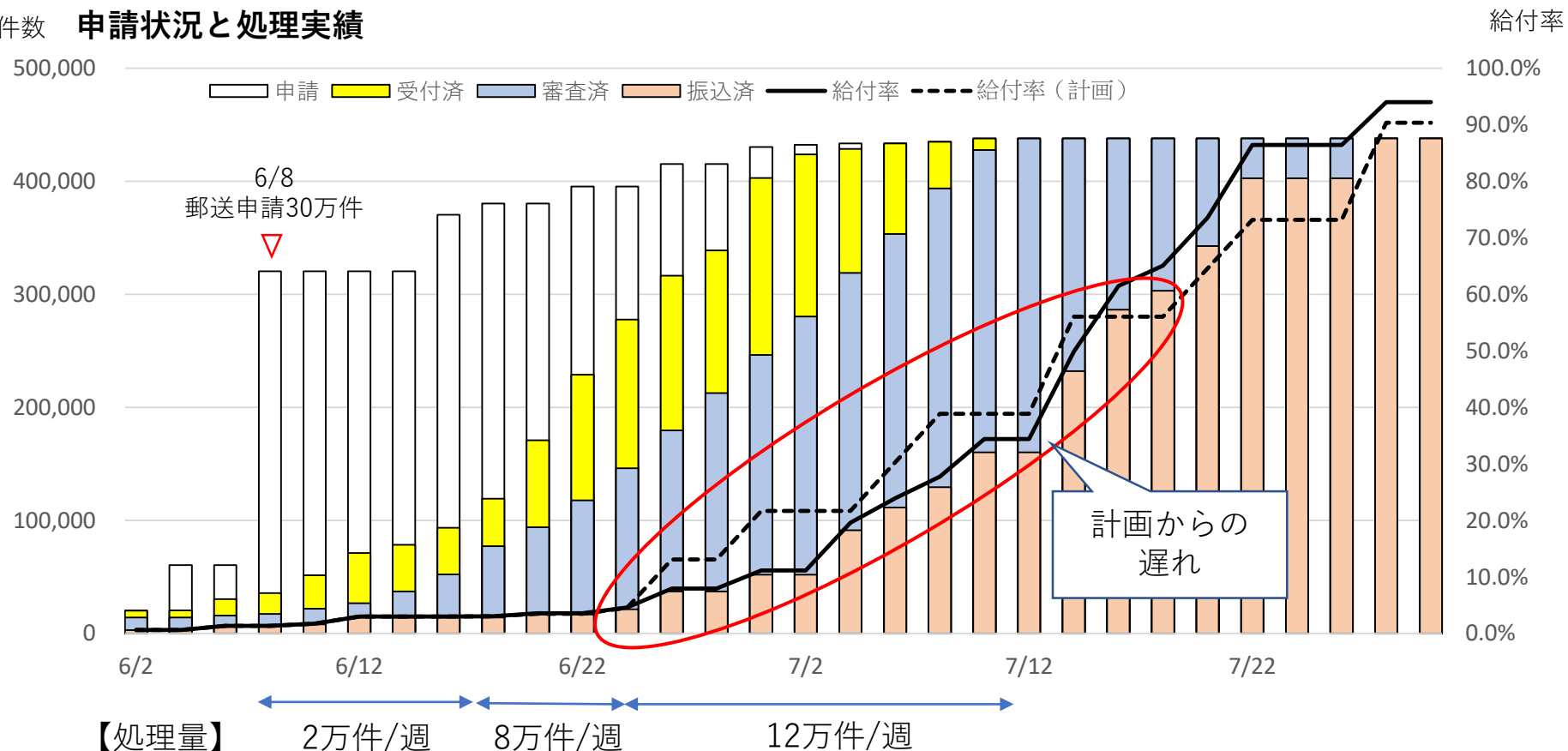
➤ 準備段階では、特段の遅れはなかった

### 3 振込と対応の状況

○郵送申請の受付開始直後に約30万件の申請書が届き、開封業務に多くの人員を要し、**当初の審査件数が計画（8万件/週）を下回る2万件/週となり、振込が計画から遅れた。**

○業務時間の延長、処理人員の増員、審査用PCの増設等により、途中から12万件/週に増加。

件数 申請状況と処理実績



#### 対応 1

- 審査業務時間の延長  
9:00～18:00（平日）⇒  
**9:00～22:00（休日含む）**
- 処理体制の増員  
90人/日 ⇒ **(最大)250人/日**

#### 対応 2

- 審査用PCの増設  
70台 ⇒ **98台**

対応 1

対応 2

## 4 検証

### (1) 体制補強の前倒し

○事業者との協議で、過去の給付金事業における実績から必要人員を配置したが、郵送申請の受付開始直後に約30万件の申請書が届き、開封業務に多くの人員を要した。

○その結果、6/8～6/16の審査件数が当初計画（8万件/週）を下回る2万件/週となった。

➤ 6/17から事業者の増員と、職員動員により対応したが、**6/8の状況を踏まえ、直ちに6/10から動員等の体制補強を図るべきであった。**

#### 【見直しにより想定される結果】

- ・ 6月末給付率 11%→**24%**
- ・ 振込完了日 7/27→**7/21（6日前倒し）**

## (2) 全体スケジュールの前倒し

- 46万世帯に正確に給付を行うため、申請書の発送、受付・審査、申請者からの問合せ等を一元的に行えるシステムを必須とした。
- 事業者との調整の結果、システムの開発には、最速でも1カ月半（過去の給付金事業では2か月）を要することとなり、6月4日に稼働することとした。
- システム稼働の日程にあわせて、申請書の発送や事務センターの整備を行った。

現時点で、改めて考えてみれば・・・

- 開封に要する期間（約2週間）を見越して、**申請書を早期（5/15頃）に発送し、事前に開封業務に目途をつけ、システム稼働と同時に集中的に審査業務を実施する体制（6/4から12万件/週）整備が必要であった。**

### 【見直しにより想定される結果】

- ・ 6月末給付率 11%→**57%**
- ・ 振込完了日 7/27→**7/10（17日前倒し）**

- **時間がない中で、過去に実績のあるシステム中心の業務実施体制を前提として進めたが、様々な手法を庁内で議論した上で、一日でも早い給付の体制を選択すべきだった。**